

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉交響楽団	県所管課	環境生活部県民生活・文化課
代表者	理事長 榎引宣子	電 話	043-223-2406
所在地	千葉市中央区市場町11番2号		
電 話	043-222-4231		
設立年月日	昭和60年4月16日		
ホームページ アドレス	http://chibakyo.jp/		
事業内容	演奏会の開催 音楽鑑賞教室の開催 音楽に関する講座の開設 ほか		

1 出資等の状況(H30.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	65,300
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	25,000	38.3%	1	
太陽堂印刷	11,000	16.8%	2	
千葉銀行	4,000	6.1%	3	
千葉市	1,500	2.3%	4	
船橋市	1,500	2.3%	4	
千葉興業銀行	1,500	2.3%	4	
東京電力千葉支店	1,500	2.3%	4	
東京ガス千葉支店	1,500	2.3%	4	
市川市	1,000	1.5%	9	
松戸市他12者	16,800	25.7%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H30.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
総資産	79,190	95,510	104,174
負債	9,938	16,694	12,200
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	69,252	78,816	91,974
累積損益(利益剰余金)	3,952	13,516	26,674

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	170,669	181,366	191,520
経常損益	▲ 1,981	9,564	13,148
当期損益	▲ 280	9,564	13,158
減価償却前当期損益	▲ 238	9,564	13,158

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
借入金残高	0	0	0
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	0	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
委託料	特別支援学校巡回コンサート 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業 県民の日(コンサート)	13,652	13,452	17,155
補助金・交付金・負担金	運営費補助 音楽鑑賞教室事業負担金 県民芸術劇場事業負担金	56,493	56,949	57,766
合計		70,145	70,401	74,921

(2) その他

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの	報償費 (県民の日 楽器体験事業)	0	250	250
合計		0	250	250

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
委託料のうち再委託したもの		0	0	0
再委託のうち入札によるもの		0	0	0
再委託のうち随意契約によるもの		0	0	0

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	28年度	29年度	30年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	14	15	14
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	0	0	0

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	28年度	29年度	30年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	1人(1人)	1人(1人)
役員平均年齢	※	※	※
平均年収(千円)	※	※	※
職員数(県派遣又は県OB)	13.5人(0人)	15人(0人)	14人(0人)
職員平均年齢	49歳	51歳	54歳
平均年収(千円)	3,338千円	3,359千円	3,577千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※役職員数は実人員を記入してください。

平成30年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

※平成30年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	関与縮小
改革方針(概要)	依頼演奏会事業や寄附金等の獲得のための営業活動を積極的に実施し、収入源を増やすとともに、徹底した経費の見直しにより経営基盤を確立し、県依存型経営から速やかに脱却する。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽監督を配置(H28～)し、オーケストラ体制の充実及び営業力を強化した。 ・理事長によるトップダウンの営業活動を強化した。 29年度は定期演奏会の入場者数は、4,726人で目標の110%増、さらに、依頼演奏会数も増加し、目標の113%増の収入となった。 会費収入も29年度予算額に対し148%増となる8,160千円となった。 ・音楽の更なる質の向上を図るため、首席楽団員を採用するなど楽団員の拡充を行っている。 ・山下音楽監督の就任後2年が過ぎ、県民からの千葉交響楽団の活躍への期待が高く、千葉交響楽団のイメージ向上に貢献している。 ・経営改善計画に基づき、新規依頼演奏会の獲得、演奏会入場者数の増加や会員の増加など、収入の確保に向けた取り組みを進め、経営基盤の安定化等を図っていく。 ・今後も県民の皆さまに良質で多様な音楽文化を届けるために千葉交響楽団を活用し、県内の文化芸術団体等と連携し、東京2020オリンピックパラリンピックに向けた機運醸成のための演奏会などを企画検討中であり、実施につなげていく。
その他(特記事項等)	山下音楽監督が目指す県民が誇りとするような「おらがまちのオーケストラ」を目指していく。また、県内の合唱団やアマチュア演奏者等と連携した取組を行っていく。

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。